

令和7年度 高崎麓小学校 学校運営協議会 実践報告書

1 学校の概要

学校名	都城市立高崎麓小学校		校長名	玉井 教広	
学級数	4	児童生徒数	16名	職員数	10名
教育目標	健康で、心豊かで、自ら考えて行動する子どもの育成				

2 学校運営協議会に関わる組織

(1) 委員(計5名)・事務局(計2名)

学校運営協議会委員	No.	所属名(役職)	氏名	備考
	1	前田地域公民館副館長	平山 浩一	会長
	2	おおむたこども園園長	竹之下良子	副会長
	3	ふもとっ子を伸ばす会会長	木下 照芳	
	4	民生委員児童委員	眞方 初美	
	5	PTA会長	山崎 信次	

事務局	役職	氏名
	校長	玉井 教広
	教頭	梶田 ゆり子

学校運営協議会 委員 5名	
実働組織	<ul style="list-style-type: none"> ・ふもとっ子を伸ばす会 14名 ・地域見守り隊 4名 ・あおばずくキッズクラブ 3名 ・俵踊り保存会 2名
協力組織	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区高齢者クラブ ・前田地域公民館

(2) 組織編制

本会は、公民館、こども園、PTA等の代表5名の委員と、校長・教頭による事務局で構成されている。組織体制は、主に稲作体験を担う「ふもとっ子を伸ばす会」や朝の登校見守り活動、伝統芸能を継承する保存会などの実働組織、更には高齢者クラブ等の協力組織が連携し、学校と地域が一体となって、多角的な視点から本校の教育活動を支援し、子どもたちの健やかに豊かな成長を地域全体で支えていくための充実した体制を整えている。

3 年間の活動計画

月日	主な活動及び内容
4月	・学校運営協議会委員選出
6月27日	・第1回学校運営協議会 (授業参観、委嘱状交付、学校経営ビジョン説明、年間計画、情報交換)
8月4日	・第2回学校運営協議会 (高崎地区合同開催、6小中学校が合同で情報交換・熟議)
12月16日	・第3回学校運営協議会(高崎地区合同TZミーティング開催の参観・講評)
1月30日	・第4回学校運営協議会(授業参観、学校評価報告書検討、3学期の活動の予定)
2月27日	・第5回学校運営協議会(授業参観、評価報告書、校長へ助言・提言)
3月	・次年度への引継ぎ

4 今年度実施した「熟議」のテーマ

8月:地域と連携して「人間力」を育てるには

5 学校運営協議会の意見を生かした特色ある取組

(1) 学校支援活動

○ 稲作体験活動

本年度も児童の人間力の育成に向けて、「ふもとっ子を伸ばす会」が中心となり保護者の協力のもと稲作体験活動を実施した。内容は、田植え、もちつきや伝統的なめのもち飾りと多岐にわたる。

これらの活動を通じて、本年度の高崎地区の人間力育成に関わる食への感謝の気持ちを育むとともに、前田地域への郷土愛を育む機会となった。収穫したもち米で作った「めのもち」は、近隣の「田の神様(たのかんさあ)」や放課後児童クラブ、郵便局の地域施設へ持参し、学校と地域の密接な連携を具現化し、自己肯定感やコミュニケーション能力を高めた。



【稲作体験活動 田植え】

○ 常時支援活動

登校見守りボランティアとして4名の方に支援していただいている。都城地区地域安全協会よりスクールガード防犯品の贈呈式が行われ、防犯マグネットや帽子などを寄贈していただき、登下校時の安全教育に繋がっている。また、年に1回、主任児童委員さん等をお招きして「地区懇談会」を開き、児童の登下校や地区での生活の様子など意見交換することができた。本活動は地域協働の要となり、児童の安心・安全な登下校環境づくりが構築されている。



【防犯の物品贈呈式】

○ 読み聞かせ

月に1回、朝の活動時間に「あおばずくキッズクラブ」3名の方々が交代で、読み聞かせに来校して下さる。本に親しむきっかけを作るだけでなく、語彙力の向上や豊かな想像力を育くことにも繋がったり、静かに物語を聞いたりすることで、集中力が養われ、ボランティアとの交流を通じて多様な価値観に触れる等、豊かな感性を育まれるきっかけともなっている。



【あおばずくキッズクラブ
による読み聞かせ】

(2) 教育課程の改善（カリキュラム・マネジメント）

○ 「地域とともにある学校」に向けて、学校運営協議会（コミュニティスクール）を可能な限り参観日に位置づけ、授業参観していただいたり、学校行事に参加してもらったりして、学校と地域の連携を密にできる教育課程を組んだ。

○ 「ふれあい学習」では、JA北支部婦人会高崎・山田地区の方々、高崎町学校給食センターの学校栄養職員を講師としてお招きし、高崎町の郷土料理「北斗鍋」の調理を親子で行った。会食には、地域の方々も御招待し、下学年の児童と昔の遊びで遊んだり、会食したりする活動を通して、世代を超えた信頼関係を築き、郷土愛や思いやりの心を育む機会となった。



【ふれあい学習の様子】

○ 地域美化作業（日向前田駅、宇賀神社）

総合的な学習の時間やTZミーティングの一環で、日向前田駅や宇賀神社の清掃を実施した。3月には全校児童による清掃に加え、JR九州や地域団体と協力した看板設置や花植えも予定している。本活動は、児童の公共心や社会性を養い、自ら行動することで公共物を大切にすることを当事者意識を育む機会となった。こうした一連の取り組みが、郷土愛に繋がり、健やかな自己肯定感の育成へと繋がっている。



【日向前田駅清掃の様子】

6 学校運営協議会の成果と課題（○：成果 ●：課題）

- 地域と学校の交流を通じ、豊かな社会性と郷土愛を育み、地域の活性化等に繋がる活動、学校も地域の専門性を教育に生かせる等、三者が互いに助け合い、高め合う持続可能な教育コミュニティを形成することができた。
- 地区懇談会や登校見守りを通じて、情報共有ができ、開かれた学校づくりが推進された。
- 地域一体となった支援体制が確立される一方、支援組織の固定化や高齢化が進行しており、若年層や保護者の参画を促すことで地域全体で見守る持続可能な仕組み作りが必要である。
- 少人数での固定的な関係に留まらぬよう、前田地域の人材の再発掘をするとともに、外部団体との協働や高崎地区内の交流を視野に入れ、地域に根差しながらも多様な感性や広い視野を育む教育課程の充実が必要である。

7 次年度の方向性

- 高齢化が進む中、前田地域の教育資源を再発掘し、外部団体との交流を具現化するとともに、持続可能な教育コミュニティを維持・発展させる。多世代交流を目指し、児童が地域に誇りをもち、主体的に行動できる資質・能力の育成を推進していく。